

2019産総研

テクノブリッジセミナー in 石川

産総研石川サイトでは、国立研究開発法人産業技術総合研究所（産総研）の研究開発の一端を石川県内企業の皆さまにご紹介するイベントとしてテクノブリッジセミナー in 石川 2019を開催いたします。産総研では国内最大規模の公的研究機関として、持続的発展可能な社会の実現を目指した研究開発に取り組んでいます。今回のセミナーでは、産総研が運用する世界トップクラスのAI用計算インフラABCI（AI Bridging Cloud Infrastructure）、ロボットの社会実装の現状、社会課題を解決するため世界的に取り組まれている新たなデザイン思考の考え方をご紹介します。年末ご多忙の折とは存じますが、皆様のご参加をお待ちしております。

○日時：令和元年12月20日（金） 13:30～16:30

○会場：石川県地場産業振興センター 新館第12研修室

住所 金沢市鞍月2丁目20番地

アクセス <https://www.isico.or.jp/site/jibasan/jibasan-access.html>

○定員：100名（定員に達し次第、締め切らせていただきます。）

○主催：国立研究開発法人産業技術総合研究所

○共催：石川県工業試験場、公益財団法人石川県産業創出支援機構

参加費
無料

○講演テーマ 講演概要、プログラムは裏面に掲載しています。

講演1 圧倒的GPUパワーで皆さまのAI開発を加速させる「ABCI」とは

平林 剛 産総研・東工大 実社会ビッグデータ活用オープンイノベーションラボラトリー(RWBC-OIL)
ABCIプロモーションチーム

講演2 ロボットの社会実装とデザイン思考

大場 光太郎 産総研デザインスクール事業室 室長/ロボットイノベーション研究センター 副研究センター長

○ 参加申込 下記項目をE-mailにてお申込みください。

【記入事項】 氏名、ふりがな、会社名（団体名）、部署、役職、電話番号、E-mailアドレス

石川県工業試験場企画指導部 担当：米澤

E-mail: ishikawa-site-ics-ml@aist.go.jp

○ 申込締切 12月13日（金）（定員に達し次第、締め切らせていただきます）

2019産総研 テクノブリッジセミナー in 石川

○プログラム

13:30 開会挨拶

淡野正信 産業技術総合研究所 中部センター 所長

13:40 講演1

「圧倒的GPUパワーで皆さまのAI開発を加速させる「ABCI」とは」

平林 剛 産総研・東工大 実社会ビッグデータ活用
オープンイノベーションラボラトリ(RWBC-OIL)
ABCIプロモーションチーム

ABCIは、「AI技術の最先端研究開発」と、「世の中のAI開発の加速」のために産総研が運用する世界トップクラスのAI用計算インフラです。

本講演では、前半は「AIの紐解き」、後半は「ABCIの紐解き」を中心にすすめてまいります。

1. AI? DX? BigDATA? IoT? 何がどうなってるの?
2. AIを開発するには何が必要?
3. ビジネスにAIを取り入れるには?
4. ABCIって何? ABCIを使うと、どんないいことがあるの?
5. 実際にはどう使われているの?

「さてAI、どうしようか」という方から、「すでにAI開発やってます」という方まで、ABCIの価値をご理解いただけます。

14:40 休憩

14:50 講演2

「ロボットの社会実装とデザイン思考」

大場 光太郎 産総研デザインスクール事業室 室長 /
ロボットイノベーション研究センター副研究センター長

2020年の東京オリンピックに向け、日本のロボット技術の現状、社会実装の実例として地方の取り組みなどを紹介し、さらには社会実装に向けた課題について解説します。また、昨今の複雑化し混沌とした時代(VUCA)において、技術だけでは解決できなくなっている問題を解決し、社会実装するための手法として注目されている、米国のIDEOなどで取り組まれているデザイン思考等の考え方を紹介します。

例えば、介護ロボットの価値を最大化し、事業として使いこなすためには、単に機能的に補完できるロボットを製造すればすべてが解決されるという単純な問題ではなく、介護事業におけるステークホルダーとその因果関係を分析し、持続的に課題解決し運用可能なモデルとして、“従来の介護のロボット化”ではなく、新たな“ロボット化された介護”という働き方全体を設計するという考え方です。

このような考え方を、事例を通じワークショップ形式で体験していただきます。

16:30 閉会挨拶

尾崎浩一 産業技術総合研究所 イノベーション推進本部
上席イノベーションコーディネータ